

### Ⅲ 自由意見

以下は、自由意見欄へ記載いただいたご意見の中から抜粋して掲載したものです。

<b>(1) 男性が仕事、家事、育児、介護などを両立することについて</b>		
内容	性別	年齢
休業保証又は補償が取れる仕組みを作ることが必要。	男性	50代
恥ずかしいという意識を無くしていく取組を積極的に行うことが必要。	男性	60代
勤務時間を減らしても給料が下がらないのであれば、積極的な参加ができると感じる。	男性	40代
労働時間（内容）の比重が活動時間の大半を占めていて、家庭への参加が難しい人が多いように感じる。	女性	40代
男性が「家庭」について考えることが必要。	男性	50代
今の若いお父さんは積極的に子どもに関わっているが、介護に関しては取り組みを変える必要がある。	女性	50代
残業が多く、休みが少ないといった職場がなくなる限り両立するのは難しい。また、給料が減るなどとなると余計に。最近の若い子は、家事などを積極的にやっている。それを職場が賛同していない。	女性	30代
「男性は外で仕事、女性は家庭を守る」という古い考え方がまだ色濃く残っているように感じる。そのため、夫は家事、育児をしなくても良いと思っており、会社も子どものための休暇（特に急病時の休暇）は女性が取るものという考えで休暇がもらえないこともある。まずは男性の意識改革が必要。	女性	40代
最近の男性は家事や育児、介護を積極的に取り組んでいるが、家庭内（姑や舅）や世間の目、職場など外部の意識改革が遅れていると感じる。	女性	50代
男性は安定した収入を確保するために、仕事に重きを置いてほしい。それなりの仕事をして毎日疲れていると思うので、家事への両立はほどほどで良いと考えている。	女性	40代
両立ができる職場環境を作ってほしい。職場から男性が取得できる育児休暇や手当の具体的な紹介などがあるとよい。若くして結婚、出産を経験すると、上司や会社の雰囲気や育休がとりづらい現状がある。個人が自由に遠慮なく利用できる社会システムを作ってほしい。	女性	20代
良いことだと思うが、会社を休むほど復帰後に残業対応や休日出勤などに追われるため、民間企業などの人手を増やすことが必要。	男性	40代
職場での労働時間が長いため、家事などへの参加は実質不可能だと感じる。今では、若い人を中心に、家事もやる人は増えている。	女性	30代
男女ともに見て見ぬふりではなく、協力して取り組むことが必要。	男性	40代
昭和30年代以前に生まれた60代以上の男性は、家事、育児、介護は「自分の仕事ではない」という意識を持っている人が多いと感じる。このような考え方を持っている男性の意識改革を行わなければ、男女共同参画社会の実現は難しい。	女性	60代
長時間労働で帰宅時間が遅く、妻に家事などの負担が多くなっている。	男性	40代
家族への思いやりや感謝の気持ちを忘れないことが大切。	男性	40代
今の職場では、既婚者が大半だが、全員退勤時間が遅く、育児や家事などに関わるのが困難な状況である。職場の理解が必要であり、早く帰宅できるような業務配分、見直し、配慮が必要。	男性	30代
昔に比べて、男性が取り組むようになってきているが、介護に対しては、女性が行うものと言う風潮があり、男性が育児や介護休暇を取りやすくなる職場作りが必要。	女性	40代

仕事を中心で家庭にまで気を回す余裕がなく、子育てや家事などは女性に任せたいという思いがある。経済的な理由（共働きでないと苦しい）や女性の働きたい気持ちがあれば、協力して取り組むことが必要。	男性	40代
--	----	-----

## (2) 女性が仕事、家事、育児、介護などを両立することについて

内容	性別	年齢
難しいことも多いが、当然と思われている。男性は家に帰ると何もしようとしない。	女性	50代
職場の固定概念や賃金格差を無くすことが大切。	男性	60代
仕事や家事などの疲れで余裕のない人が多く、今でも女性に求める姿は変わっていない。女性と男性で考えが違うため、仕組みよりも息抜きの場や時間が大切。	女性	40代
夫婦や同性同士など様々な子育ての形がある中で、多種多様な制度がほしい。	その他	30代
女性が安心して仕事を続け、家事などにも取り組めるような社会的な支援体制が必要。	女性	60代
人により考え方が異なるので強制はできない。働かず子育てを重視することも重要なので自主性に任せるべきだと感じる。ただし、両立したい人の支援は必要。	男性	50代
出産に関わる体調不良により、仕事や家事などやりたいけどできない人の方が多い。職場や制度の理解があると、女性は働きやすいと感じる。	女性	30代
両立をしている女性は多くの我慢をしている。	女性	40代
女性に経済的な「力」がないと、どの局面においても発言権がないと感じる。社会全体の男女平等の推進が進むことが必要。	女性	50代
男性と女性が交互に育休を取ることが常識化しないと両立は難しいと感じる。	男性	40代
環境や制度など関係なく、男性と女性ともに平等に生活することが大切。	男性	30代
男女ともに働くことで労働力や納税者を増やすことはできるが、女性の社会進出する割合が高くなるほど出生率が低下していると感じる。	男性	40代
保育制度の充実や高等教育機関の無償化が必要。	男性	50代
女性が仕事と家事の両立をすることは可能だと思うが、育児と介護も加わると負担が大きくなるので、職場に育児や介護におけるサービスを導入することが必要。	女性	20代
男女ともに平等であることが正しいことではなく、それぞれ個性にあった協力ができる人や制度を作り、住みやすい社会や地域にしていくコミュニケーションが大切。	男性	40代
現在のような制度が、過去にあったら出産で退職しなかったかもしれない。離れた親の介護休暇を取りたかったが、休めなかった。両立できるように社会や職場の意識を変えることが必要。	女性	40代
家庭ごとの事情にあわせて、相談し、バランスを決めることが必要。	男性	40代

<b>(1) (2) 共通意見</b>		
内容	性別	年齢
両立するための支援があることで、家庭内での協力が増え、互いの関係性もよくなると感じる。	女性	20代
積極的に両立を支援する環境を作るなど、会社組織及び世論の考え方を変えることが必要。	男性	50代
男女ともに家族が役割分担することで両立できる。しかし介護については、配偶者に自分の親の介護を頼めない場合があるため、両立できない。	男性	50代
介護が必要になった場合、どうすればいいのかよくわからない。介護の案内や手続きなど分かりやすい情報を公開してほしい。	女性	50代

<b>(3) その他、男女共同参画について</b>		
内容	性別	年齢
男女ともに差を無くし、多様な在り方にも助け合っていかなければ成り立たないと感じる。	女性	60代
同性同士の場合、入院や葬儀など何もできないことに疑問を感じる。	その他	30代
子どもの時から男女平等を教えることが必要。	女性	60代
男尊女卑の考えを無くすことが大切。	男性	60代
組織や行政が法律や規則などを作ることが大切。	女性	50代
政治参加に女性議員を一定数確保していくべき。	男性	50代
男女による様々な考え方を共に分かり合わないと、平等に扱わないと感じる。	女性	30代
働きやすい職場環境を整備するためにも、男女共同参画の考え方は大切。	女性	20代
身体的な性差やジェンダーによる考え方の違いはあるが、男女の歩みよりによって男女共同参画を実現することが大切。歴史的にも男性優位であった時代の長い日本なのですぐは変わらないかもしれないが、活動している方や行政のおかげで少しずつは変わっていると感じる。	男性	30代
「男女平等」を進めるうえで、それ以上に「個人」を大切にしたいと感じる。人それぞれに考えがあり、様々な人がいることを当たり前だと考えられるような「人」の人生を尊重することが大切。	女性	30代
性別にとらわれず、人権を尊重し合える社会が築かれるように家庭でも意識を高めたい。	女性	50代
仕事を探す時に、女性だからできないという企業がある。	女性	50代
ハラスメント全般について、相談できる窓口や人など誰にでもわかるように周知してほしい。	女性	60代
職場でのお茶くみは女性という考えや覚える業務が男女で違うなど、表立って平等と言っているけど、内々は全く変わっていないと感じる。	女性	40代